

平成30年度 授業エキスパートを目指す授業研究会 平成30年9月18日(火)

宮代町立百間小学校

音楽

題材名「拍のながれにのってリズムをかんじとろう」
第3学年

「音楽が得意な子も不得意な子も音楽の時間に対して、楽しみや喜びを感じるスタートを大事にしたい」(「私の授業も観てほしいポイント」より)



今日の学習のめあてを確認



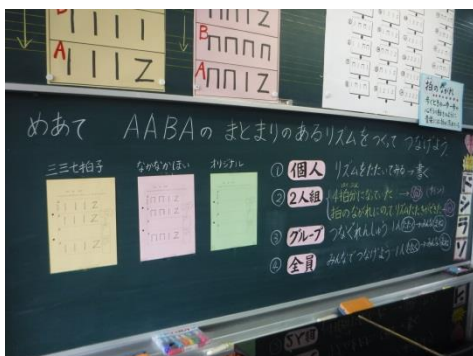
常時活動：わらべうた(「おつきさん、こんばんは」「なかなかまい」)リズムを体全体で捉えて、いろんなペアで歌ったり遊んだりする。



子供たちがリズムがかきやすいように音符を工夫。四分音符は「たー」、八分音符は「ちち」、四分休符は「すん」ということで、音の長さを区別しやすいようにした。



「リズムオリンピック」先生の拍に合わせて、つかえないようにチャレンジ!



「三三七拍子」、「なかなかまい」、「オリジナル」から選択して自分でリズムを作る活動



作ったリズムをグループで見合い、全員でつなぐ



参会者からの声 研究会のあり方・全体的な感想



- 「わらべうた」が効果的に使えていた。苦手な子供も楽しく取り組めた。
- 「リズムオリンピック」が参考になった。本時の学習はスムーズだった。子供が多様なリズムを知っていた。
- 板書にめあてや活動の流れが書いてあったので、子供が学習の進め方を理解できていてよかった。
- リズム作りでは、3種類のプリントを選択させていてよかった。ワークシートが縦にAABAと並んで

いてよかった。1拍がもう少し分かりやすいように、点線を入れてはどうか。

- 全員が拍を感じて、作ったリズムを発表できていた。教師が安心感を与えていたのがよかった。
- 全員でリズムをつなぐ際には、メトロノームやリズムボックスを活用してはどうか。

【アンケートから】

- 子供たちが、45分間、無駄なく活動に取り組んでおり、準備・掲示に感動しました。全員が「拍ののってリズムをたたく」活動に参加して成果を出しており、本当にすばらしかったです。少しずつまねをして実践していきます。
- 的確な指示や資料提示、展開の工夫、ワークシート等、どれをとっても、今すぐ実践したいと思うものばかりでした。授業の工夫や児童への配慮等、どの教科にも活かせるものばかりですばらしかったです。
- 私自身、同じ学年で同じ単元の授業をやった後だったのでとてもよく理解できました。また、専門性の高い授業だったので、活動ありき、楽しければよいという欠点に陥りやすい3年生の授業をいかにきちんとやるべきか勉強になりました。



○子供たちが、自然とあんなにたくさんのリズムをスムーズにたたけていることがとてもすばらしいと思いました。リズム作りで、オリジナルのリズムを考えて全員が発表できたのは、日頃から先生が子供たち一人一人に優しい声かけをして楽しく活動しているからだと思いました。

○日頃から、本時のような「音楽づくり」の授業は、子供たちに達成感を味わわせるのにどうしたらよいか、評価はどのようにするのか等悩むことが多いです。今日は、まねし

たい所がたくさんありました。

- 授業・協議を通して、小学校の先生方がこんな所にも気を付けているのだと学ぶことができました。中学校の指導に生かしたいです。
- 「わらべうた」の重要性を研究していたこともあったので、改めて理解を深めることができました。中学校でもリズムに関する活動を取り入れていきたいと思いました。
- 他の先生の音楽の授業を参観する機会が少なく、このような場はありがたいです。